

標準書No.:

H-012

会社名: 大和化成工業株式会社

名称:

金型明示標準

版	改訂日	起案部署		
	2019/7/17	技術部 生産準備課		
版	制定日	承認	審査	起案
初版	2014/10/31			

配布先:

配布先		配布先		配布先	
✓	購買課	✓	生産準備課	✓	工法開発課
✓	金型保全課	✓	生産1課	✓	生産2課
✓	海外拠点(DA,DAT,DAC,DAI,DAE,KATI)	✓	仕入先(金型メーカー)	✓	仕入先(成形メーカー)

名称:

金型明示標準

標準書No.:

H-012

ページ:

1/1**目 次****【1】品番・型番明示****1** 明示位置・方法 P.1**【2】キャビNo.明示****1** 明示位置・方法 P.2**【3】資産シール明示****1** 貼り付け位置 P.3

名称:

金型明示標準

標準書No.:

H-012

ページ:

1/3

【1】品番・型番明示

【目的】

金型に品番・型番を明示する事で、金型取り付け間違いによる不具合発生を防止する

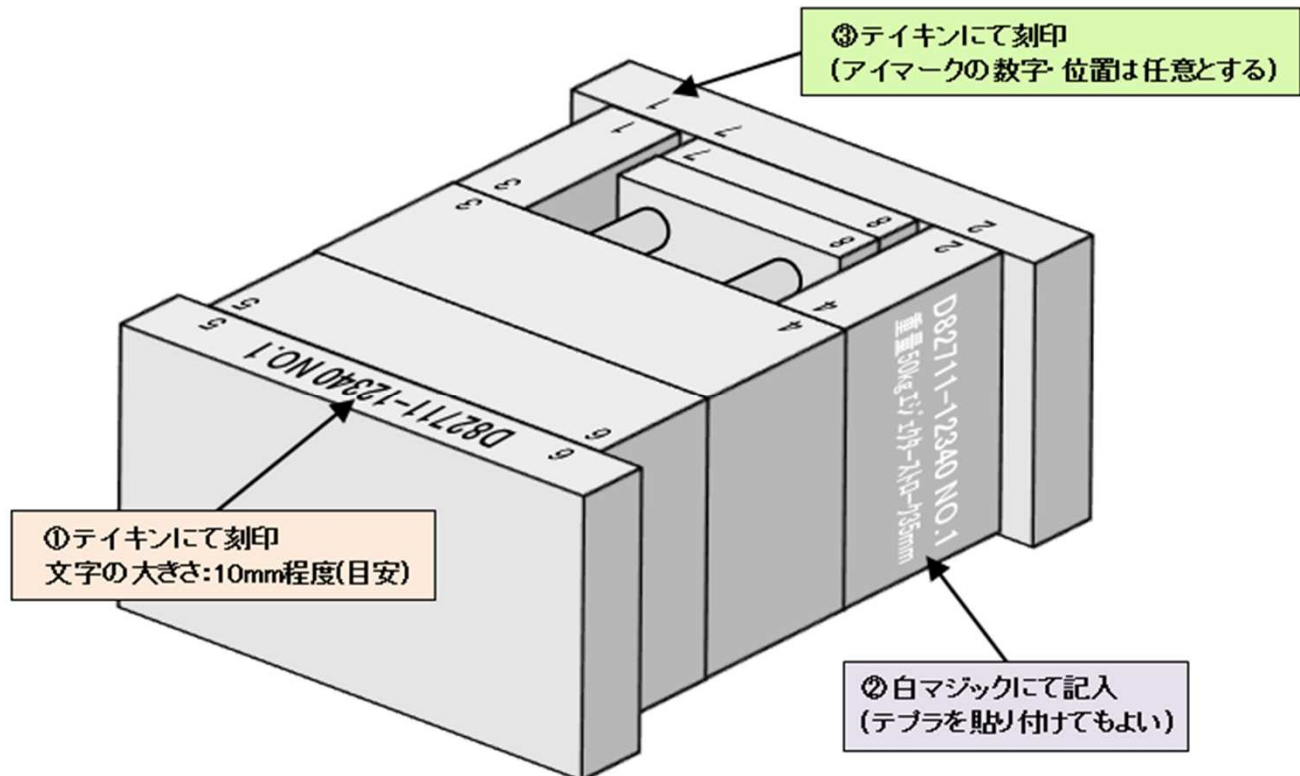
【適用範囲】

全ての金型

1 明示位置・方法

金型には下記①②③の刻印及び明示をする
品番の先頭には大和の『D』を付ける事

例) 品番:82711-12340 型番:1番型



《①固定取り付け板への刻印》

〈項目〉 品番・型番

〈位置〉 固定取り付け板(天面) ※DMI小型は固定ベース(天面)

《②スパーサブロックへの明示》

①

〈項目〉 品番・型番・**金型総重量(ホットハーフの重量込みで記載)**・エジェクタストローク

〈位置〉 可動スパーサブロックの両側(作業者側・反作業者側)

【注意】 DMI小型で5t以下の金型については記入不要

《③各プレートへの刻印》

〈項目〉 組み付けアイマーク

〈位置〉 各プレートの天面

名称:

金型明示標準

標準書No.:

H-012

ページ:

2/3

【2】キャビNo.明示

【目的】

金型のPL面にキャビNo.を刻印する事で、不具合発生時、PL面から不具合箇所を特定出来るようにする

【適用範囲】


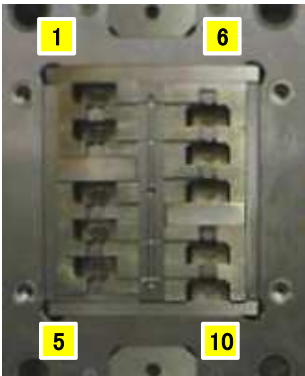
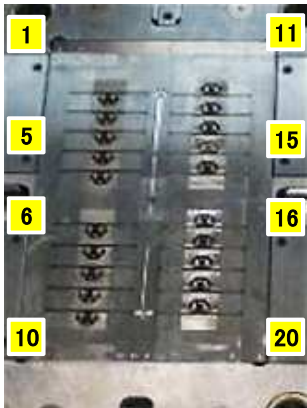
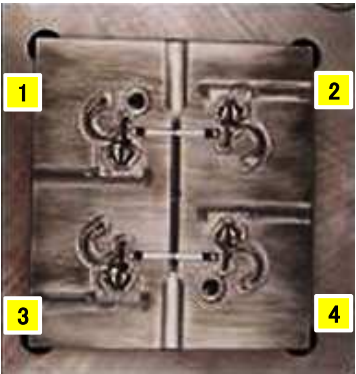
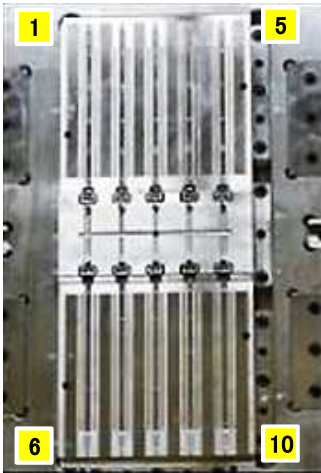

多数個取り(2個取り以上)の金型

1 明示位置・方法

金型のPL面にテイキンにてキャビNo.を刻印する

刻印の文字の大きさは任意とし、位置については下記を参考にする事

参考

《2個取り》	《10個取り(縦配列)》	《20個取り(縦配列)》
		
《4個取り》	《10個取り(横配列)》	《20個取り(横配列)》
		

名称:

金型明示標準

標準書No.:

H-012

ページ:

3/3

【3】資産シール明示

【目的】

金型に資産シールを貼り付け付ける事で、
管理を確実に行う

【適用範囲】

全ての金型

《資産シール》

資産No.	K003	年月
品番		
① 大和化成工業株式会社		/

1 貼り付け位置

資産シールは、下記①②どちらかの位置に貼り付ける

(他の明示と重ならない位置に貼り付ける事)

また、資産シールは金型を新規に作成した時のみ貼り付けをする事(設変時、貼り付け不要)

【汎用】・【DMI大型】・【汎用 2色】・【DMI 2色大型】

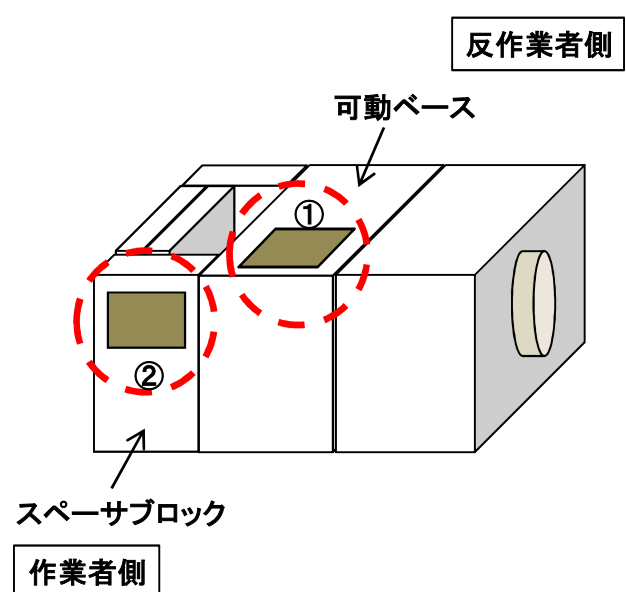
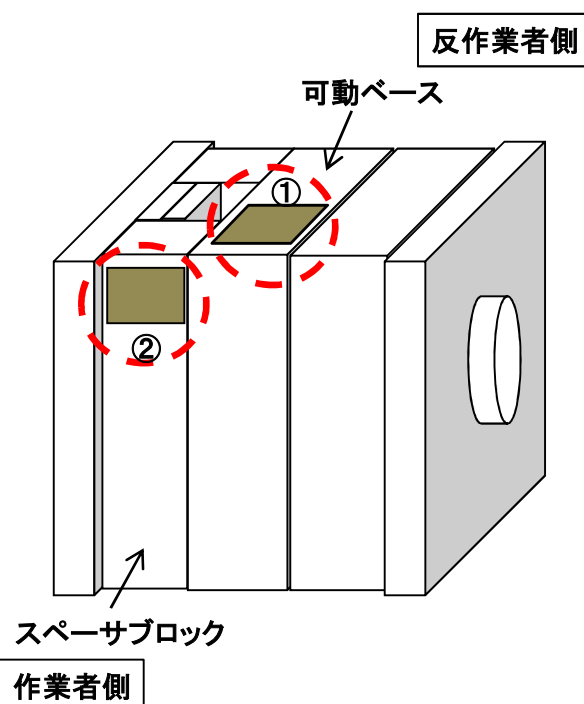
①可動ベース:天面-作業側

②スペーサブロック:側面(作業側)-上側

【DMI小型】・【DMI 2色小型】

①可動ベース:天面-作業側

②スペーサブロック:側面(作業側)-上側



【注意】資産シールはとても重要な明示である為、確実に貼り付ける事